

△の数	訂	正	記	事	担当	検図	年月日	△の数	訂	正	記	事	担当	検図	年月日	
△								△								
△								△								
適用規格																
定 格	使用温度範囲		-55℃～85℃(注1)				保存温度範囲		-10℃～60℃(注2)							
	電 圧		AC 200 V				使用湿度範囲		40%～80%							
	電 流		3 A				保存湿度範囲		40%～70%(注2)							
性 能																
	項 目		試 験 方 法				規 格				QT	AT				
構 造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○				
	表示		目視にて確認する。								○	○				
電 氣 的 性 能	接触抵抗		100 mA (DC 又は 1000 Hz)で測定する。				15 mΩ以下				○	—				
	絶縁抵抗		DC 500 Vで測定する。				1000 MΩ以上				○	—				
	耐電圧		AC 650 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	—				
機 械 的 性 能	繰り返し動作		500 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗: 15 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—				
	耐振性		周波数 10～55 Hz, 全振幅 1.5 mm, 3 方向各 2 時間試験する。				① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—				
	耐衝撃性		加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3方向各 3 回試験する。								○	—				
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性		温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 15 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上				○	—				
	温度サイクル		温度 -65→+15→+35→+125→+15→+35℃ 時間 30→10→15→30→10→15 分 を 5 サイクル試験する。				③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—				
	塩水噴霧		濃度 5% の塩水、48 時間放置する。				① 接触抵抗: 15 mΩ以下				○	—				
	硫化水素		濃度 3 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA 38)				② はなはだしい腐食がないこと。				○	—				
	はんだ耐熱性		はんだ槽の場合: はんだ温度 260±5℃ 浸せき時間 10±1秒間 はんだごての場合: こて温度 350℃ はんだ付け時間 3 秒以内				性能に影響する樹脂部の溶融が無いこと				○	—				
	はんだ付け性		はんだ温度 245±3℃, 浸せき時間 2 秒間のはんだ付けを行う。				はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。				○	—				
備考																
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。							製 図		担 当		検 図		承 認		出 図	
							HIF 04.05.28 岡山		HIF 04.05.28 中村		HIF 04.05.28 大川		HIF 04.05.28 大川			
試験規格の記載のない試験方法はMIL-STD-202を適用している。																
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目																
製品規格表																
製品名 A2-20PA-2.54DSA(71)																
旧CL CL																
図番 SLC4-018163-21																
製品コード CL620-0070-0-71																
1/1																